

岡山城

①外観(南面)



②内観（1階軽食コーナー）



④内観（6階展望室）



③内観（2階城主の間）



⑤内観（3階展示室）





⑥外観（南面）



⑨金鯨



⑩内観（B1階塩蔵）



⑪不名門内観・旧鯨



⑦内観（B1階エントランス）



⑧耐震補強・鉄骨ブレース部（2階）

岡山城

所在地	岡山市北区丸の内二丁目3番1号
主要用途	展示場
設計・監理	株式会社GEN設計
施工（建築）	アイサワ工業株式会社・株式会社まつもとコーポレーション
	特定建設工事共同企業体
（電気）	株式会社橋本電気工業所・大日電気興業株式会社
	特定建設工事共同企業体
（機械）	備前特機工業株式会社
地域・地区	第1種住居地域
建築面積	天守閣：523.88㎡ 不明門：140.57㎡ 廊下門：53.78㎡ 備前焼工房：132.13㎡ 他
延床面積	天守閣：1693.62㎡ 不明門：140.57㎡ 廊下門：53.78㎡ 備前焼工房：132.13㎡ 他
階数	天守閣 地下1階地上5階建+PH 不明門 地上2階建 廊下門 地上2階建 備前焼工房 平屋建
構造	天守閣 SRC造 不明門 RC造 廊下門 RC造 備前焼工房 S造
工期	令和3年6月～令和4年10月

施設紹介

・令和の大改修を行った岡山城は、宇喜多直家がまちづくりをはじめて450年目の今年再建日である11月3日にリニューアルオープンしました。岡山城内は歴史的景観への配慮が必要であり、新たな岡山城は「歴史を伝える城、集う城」をテーマに岡山の歴史を初心者にとっても分かりやすく発信、岡山城ならではの体験を提供するものとしています。

岡山市出身の歴史家・磯田道史氏監修で天守閣の展示を全面リニューアル。イベントや夜間貸出など岡山城を舞台に岡山城ならではの体験を提供します。

設計コンセプト

旧耐震基準で建築された天守閣と不明門の耐震改修及び内外装等の改修並びに附帯施設の耐震改修、内外装改修、烏城公園内のバリアフリー化工事を行い、岡山城にふさわしいデザインと同時に、公共施設として、だれもが利用しやすい施設とする。建物配置は、埋蔵文化財保護の点から、既存建物の位置を基本とし、配管類は、既設と同じルートとしている。また岡山城内建物外観は武家にふさわしい、板張りを主とし、色彩は、烏城をイメージした黒系、既存樹木は、極力残す計画とした。